

前回会議（第 1 回検討委員会）の振り返り

（前回会議）

日時：令和元年（2019 年）6 月 10 日（月）13:00～

場所：熊本市役所 議会棟 2 階 予算決算委員会室

	ご意見	対応
1	■壁面緑化についても、具体的に取り組んでほしい。（桑原委員）	壁面緑化を含め、緑が感じられる様々な手法を検討していく。
2	■オープンガーデン等のマップ作りを地域の方に協力してもらおうというのも面白い。また子ども達がガイド役となって、来場された方に説明していくことも考えてはどうか。（桑原委員）	各事業の具体スキームを考える中で、様々な参画手法について検討していく。
3	■「復興のメッセージ」と「グリーンレジリエンス」について、事業にどう反映させるかについて検討が必要。（藤田委員）	【資料 3-1～3-3】で説明。
4	■機運醸成には、サービスを提供する側の人達に、この事業をいかに浸透させるかが重要となる。（坂本代理）	各種団体に対して、フェアへの参画について引き続き案内していく。
5	■目標入場者数の設定の考え方を教えてほしい。（矢田委員）	次回委員会で、御提示させていただく。
6	■目標入場者数も含め、取組みの目標を数値化することで、具体化が進む。（坂本代理）	
7	■来場者数のカウントをどう評価するのも検討する必要がある。（藤田委員）	
8	■おもてなしの考えを学校教育から取り入れていくことが重要。（矢田委員）	“花”と“みどり”に関する教育の中で、検討していく。
9	■シンボルマーク等の制作には、大学生に限らず、小学生など幅広く意見交換をしていただきたい。（桑原委員）	【資料 2-1】2 で説明。
10	■広報演出アドバイザーの選定と地元クリエイター、アドバイザーの参画について（岡村委員、藤田委員）	【資料 2-1】1.3 で説明。
11	■花の調達については、早め早めの調整が必要。（村上委員）	基本計画策定後、（仮称）植物調達協議会を設立予定。

1 2	■子ども達のモチベーションを上げて、維持していく取組みや進め方を考えることが重要。(馬場委員)	様々な機会を捉え、子ども達に参加できる仕組みを工夫していく。
1 3	■既存の緑化活動や公園愛護会の活動を活かし、緑を再生する考え方が必要。(菘茂会長)	フェア開催に向けて、多様な団体との連携を検討していく。
1 4	■身近なところで、季節感ある花を目にするような取組みをこれからやっていくことで、皆さんが興味を持ってくれる。(吉村委員)	
1 5	■既存のまちづくり団体の活動との連携も重要。(岡村委員)	
1 6	■民間での取組みにも「NEO GREEN PROJECT」の名前を付けてもらい、機運醸成を図っていく考え方も重要。(菘茂会長、藤田委員)	【資料4】で説明。